

令和7年度 学校経営計画

江田島市立中町小学校

I ミッション

- ★児童の主体性の向上を追求し、たくましく生き抜く力を育成する。
- ★地域とともにある学校づくりを通して、ふるさとを愛し、地域社会に貢献できる人材となるための基礎を培う。

学校教育目標：自分で考え、たくましく生きる子どもの育成

めざす子ども像：
① 仲間を大切にする子
② 体をきたえる子
③ 学びを楽しむ子
④ 挑戦する子

II ビジョン（目指す学校像）

- ★地域と一緒にあって、安全・安心な学校づくりを推進する。

めざす学校像：◆児童・教職員・地域が誇れる学校
◆明るく楽しく活気のある学校
◆安全・安心な学校

III 現状分析

【知】進んで学び、粘り強く挑戦する力を育成するために、令和6年度は、国語科・算数科において、見方・考え方を働かせることができる授業の工夫・改善を行った。「表現力」と「自己調整力」の育成をめざして、主体的・協働的に活動したり表現したりする場を設定し、学び合うことに対する児童の意識が向上してきている。

また、主体的に考え、判断し、行動する場として、委員会を中心とした自治的活動を奨励し、児童の自治的活動の意識が高まってきている。今年度は、委員会に限らず、各学級における自治的活動の意識も高めていく。

令和6年度の標準学力調査の結果、国語、算数、3～6学年の理科において、すべての学年で目標値を上回った。学力は概ね定着してきているが、依然として、全学年を通して、文章の内容を読み取ることに課題があり、言葉の意味や問われていることの意味を理解させ、場面や内容をイメージさせる指導が必要である。

【徳】児童は落ち着いて行動し、他者との関わりの中で、自分とは違った価値観もあることを感じ、多様性を受け入れようとしている。素直で優しい反面、思い通りにならないとあきらめたり、不安なことがあると学校を休んだりする等、自信がなく打たれ弱い面もある。重大な生徒指導上の諸問題はないが、困難なことに挑戦するたくましさやレジリエンスに課題がある。令和6年度の不登校児童は4名である。

【体】心のバランスの安定のためにシグナルチェックを行い、シグナルを発信する機会を定期的に設定して、一人一人と面談を実施し、丁寧に対応してきた。また、体育科や業間運動で、楽しく体力を高める常時活動の充実を図ってきた成果として、体力・運動能力調査において、握力、投力の向上が見られるが、敏捷性や瞬発力に課題がある。すすんで運動に取り組んだり、運動を楽しんだりする習慣づけを継続する必要がある。

Ⅳ 学校教育目標

自分で考え、たくましく生きる子どもの育成

Ⅴ 目標及び取組

中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策
主体的に考え、判断し、行動する力を育てる。	○進んで学び、粘り強く挑戦する力の育成 ○自治的活動の充実	・自己調整力を育てる授業の工夫・改善を行う。 ・各学級において「話し合い活動」の充実を図る。
豊かな人間性を培い、たくましく生き抜く力を育む。	○豊かな心を育む教育の充実 ○心身の健康のための取組の充実	・他者との関わりを通じた自律を促し、レジリエンスを高める。 ・学校生活を楽しみ、よさを伸ばし合える集団づくりを行う。 ・楽しく運動に取り組む児童を増やす。 ・児童が自ら進んでやってみようと思う運動を紹介する機会を設定する。
地域と一緒にあって、安全・安心な学校づくりを推進する。	○コミュニティ・スクールの取組推進	・学校地域協働活動により、地域を愛する心を育てる。 ・課題・ビジョンの情報を共有し、明るく楽しく活気のある学校づくりをすすめる。